



第15回 資源循環型肉牛生産シンポジウム2018
日本産肉研究会 第22回 学術集会共同開催

入場
無料

家畜の福祉と牛肉生産



日時

2018年11月8日(木)
13:00~17:00

場所

帯広畜産大学 講堂
帯広市稲田町西2線11番地

わが国の肉牛生産は、平成20年から始まった輸入飼料価格の高止まりや子牛不足による素牛価格高騰などの厳しい状況にさらされ、肥育牛出荷頭数の減少が続いています。このような国産肉牛供給量の減少を反映し、枝肉価格は上昇していますが、それを牽引しているのは外国人観光客の増加に伴うインバウンド需要の増大や堅調な輸出需要などであり、需要の3割を占める家計消費は減少傾向が続いています。

近年、牛肉生産は経営規模が大型化するとともに、生産方式の規格化が進んでいます。そのような生産方式の中で、牛本来の生理に基づいた飼いがなされているか、適切な飼養環境が維持されているか、飼料の安全性が確保されているかなど、まだ十分検討されていない課題が多々あるものと思われます。そこで、本シンポジウムでは、家畜福祉の観点から現行の牛肉生産システムについて検討し、議論を深め、将来の牛肉生産の一助と致したいと思います。

本シンポジウムは毎年、環境リサイクル肉牛協議会、北海道アンガス牛振興協議会および北海道短角牛振興協議会が主催していますが、今回は、日本産肉研究会の第22回学術集会および帯広畜産大学との共同開催となります。

シンポジウム開催15回目に当たり、家畜の福祉と牛肉生産の展望について、生産者、消費者、流通業界および大学・研究機関など多角的立場からの意見交換を行い、資源循環型肉牛生産の意義浸透を図ってゆきます。

基調講演 「家畜の福祉と肉牛生産」

(株)グッドテーブルズ 山本 謙治 社長

話題提供1 「欧州諸国の有機畜産とアニマルウェルフェア関連法制との位置付け」

立教大学経済学部 大山 利男 准教授

話題提供2 「アニマルウェルフェアの評価基準」

帯広畜産大学 瀬尾 哲也 准教授

話題提供3 「有機畜産の理想と現実」

北里大学獣医学部附属FSC八雲牧場 小野 泰 係長

話題提供4 「大自然を家庭の食卓に。『ポーンブロス・八雲』について」

公式通販ショップルルド 諸江 栄美 代表

話題提供5 「赤身評価の最新情報」

帯広畜産大学 口田 圭吾 教授

パネルディスカッション

パネラー：講演者、消費者代表

意見交換会・eびーふ 大焼肉すきやきパーティー



日時 11月8日(木) 17:00~ (講演終り次第)

場所 帯広畜産大学 逍遙舎 (口田研究室協力)

参加 希望者のみ 参加費別途¥3,500

現地検討会

日時 11月9日(金) 10:00

場所 大樹町 (株)坂根牧場

アニマルフェア認定酪農家



主催：環境リサイクル肉牛協議会、日本産肉研究会、北海道アンガス牛振興協議会、北海道短角牛振興協議会、帯広畜産大学

後援：北海道十勝総合振興局、帯広市、十勝農業協同組合連合会、北海道総合研究機構畜産試験場、北海道酪農畜産協会、北海道オーガニックビーフ振興協議会、芽室町農業協同組合、NHK帯広放送局、北海道新聞帯広支社、日本農業新聞北海道支所、十勝毎日新聞社

申込み・
問合せ先

TEL:0156-64-5321 FAX:0156-64-3212

e-mail: satou-yukinobu@hro.or.jp (地独)道総研 畜産試験場 肉牛グループ 担当 佐藤 幸信

環境リサイクル肉牛協議会の活動

環境リサイクル肉牛協議会は、資源循環型牛肉生産の普及・展開を目的として2008年に特定非営利活動法人に認可されました。飼料自給率30%以上(乾物換算)を達成し堆肥を畑地還元する資源循環型生産体制で生産された肉牛を環境にやさしい生産方式による牛肉として認証するeーびーふ認証制度を展開し、副産物飼料に関する情報を提供しています。資源循環型牛肉生産シンポジウムでは未利用飼料資源の活用、地域の副産物利用による牛肉生産について生産者、消費者、流通業界および大学・研究機関など多角的立場からの意見交換を行い、資源循環型牛肉生産の意義浸透を図っています。今年も多くの方々にご参加いただき、副産物や自給飼料の活用による牛肉生産について理解を深める機会となることを期待しております。

プログラム

13:00～ 開会挨拶

13:05～14:00 基調講演 「家畜の福祉と肉牛生産」

(株)グッドテーブルズ 社長 山本 謙治 氏

14:00～14:25 話題提供1 「欧州諸国の有機畜産とアニマルウェルフェア関連法制との位置付け」

立教大学経済学部 准教授 大山 利男 氏

14:25～14:50 話題提供2 「アニマルウェルフェアの評価基準」

帯広畜産大学 准教授 瀬尾 哲也 氏

15:00～15:25 話題提供3 「有機畜産の理想と現実」

北里大学獣医学部附属FSC八雲牧場 係長 小野 泰 氏

15:25～15:50 話題提供4 「大自然を家庭の食卓に『ボーンブロス・八雲』について

公式通販ショップルルド 代表 諸江 栄美 氏

15:50～16:15 話題提供5 「赤身評価の最近情報」

帯広畜産大学 教授 口田 圭吾 氏

16:15～17:00 パネルディスカッション

17:00 閉会挨拶

意見交換会・eびーふ大焼肉すきやきパーティー

日時 11月8日(木) 17:00～ (講演終り次第)

場所 帯広畜産大学 逍遥舎 (口田研究室協力)

参加 希望者のみ 参加費別途¥3.500

現地検討会

日時 11月9日(金) 10:00

場所 大樹町(株)坂根牧場
アニマルフェア認定酪農家

参加申込書

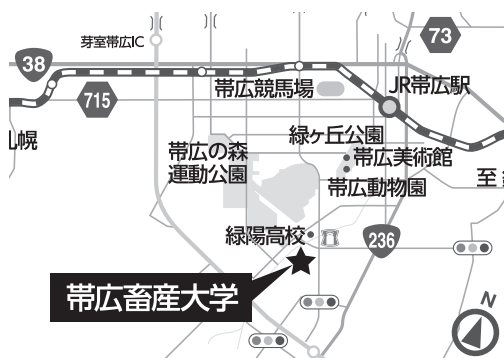
締切期限

11月2日(金)

参加される方は、FAXまたはE-mailで必要事項を記入の上お申し込みください。

道総研畜産試験場肉牛グループ 担当 佐藤 幸信

FAX送付先 **0156-64-3212** E-MAIL: satou-yukinobu@hro.or.jp



氏名	連絡先(TEL)	シンポジウム	意見交換会	現地討論